

子供に夢を与える北海道初の プロスポーツチーム



平成8年、北海道で最初に誕生したプロスポーツチーム。昨年は、Jリーグ2部で6位に終わり、1部への昇格はなりません。念願の1部昇格を目指し、今年も挑戦が続きます。

札幌に来たきっかけ

Jリーグ発足を機に、「札幌にもプロチームを」との気運が高まりました。31万人の署名などの誘致活動が実り、東芝がコンサドーレ札幌と改称し、札幌にやってきました。

地域に根付くために

サッカー指導をはじめ、チーム専属の栄養士による栄養教室、シニア世代の健康づくり教室など、チームの人材やノウハウを生かした取り組みを、幅広く行っています。



©2009H.F.C.



©2009H.F.C.

地元のファンに恩返し

コンサドーレ札幌ができた当初、ようやくわたしたちの街にも「自分たちのチーム」が生まれ、応援できるんだという喜びを感じ、胸を躍らせました。わたしは元々違う会社にいたのですが、チームができたとき、すぐにファンになりました。

このチームは、市民などの署名や出資によって生まれた、いわばみんなで作り上げたチーム。「皆さんに支えられている」ことを、スタッフや選手たちは常に念頭に置いています。期待に応えるためにも、チームを強くし、地域貢献に取り組みながら、皆さんに恩返ししていきたいですね。

コンサドーレ札幌
代表取締役社長
やはぎ たけみ
矢萩 竹美さん



道産子のプロ選手を育てる

コンサドーレ札幌には、プロ選手の育成を目的としたユースチームがあります。そこでは、選考を通じて加入した小学生から高校生までの約200人が、世代別に本格的な指導を受けています。藤田征也選手など、ユースからプロになって活躍する選手もおり、子供たちの大きな目標になっています。さらに、4歳以上の子供が誰でも入れるジュニアサッカー学校もあり、サッカーの楽しさを広めています。



©2009H.F.C.

みどころ
はココ!

ゴール前での必死の攻防を経て、貴重なゴールに繋がる瞬間は、まさに歓喜のとき。サポーターの熱い応援で盛り上がる競技場で、ぜひその高揚感を体感してみませんか。

背番号7

ふじ た せい や

藤田 征也選手

©2009H.F.C.



目標はコンサドーレの選手

小学1年生の時に、サッカーするならコンサドーレのジュニアサッカー学校に行きたいと思って、自分で選びました。スクールでコンサドーレの試合を観に行ったり、コーチと交流したりするうちに、プロの選手になりたいと思うようになって、4年生からユースチームに入りました。今までで一番うれしかったのは、今年、全日本少年サッカー大会でベスト8まで勝ち進んだこと。これからもプロ目指してユースで頑張ります。

コンサドーレ札幌ユース
U-12キャプテン(札幌北小6年)

まつえだ こう き

松枝 広樹くん

